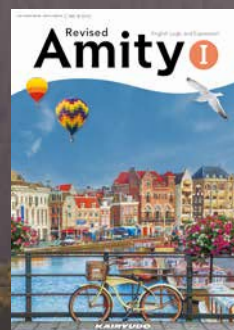
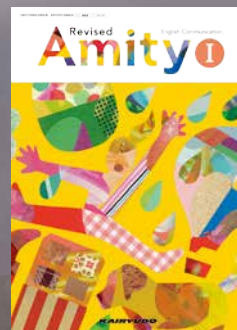
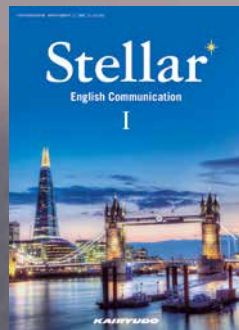


English Focus

Vol.3

2025.05

ひろがる世界、 つながる未来



新・教科書ラインナップ始動！



バックナンバーも
お読みいただけます

KAIRYUDO

まず使ってみてください！ 良さがわかります



大阪城南女子短期大学学長・教授／大阪樟蔭女子大学名誉教授
かん まさたか
菅 正隆

▷現在の高校生に合った英語教育とは

さまざまな調査から、多くの生徒が英語を苦手としていることがわかります。教科「英語」は得意だけれど英語自体は嫌い、という意見も見受けられます。その原因は高校以前、つまり乳児期から中学校までの英語との関わり方だと考えられます。高校入学時にはすでに英語に対して苦手意識や嫌悪感を抱いており、それが入学後に助長される場合もあります。その原因は何でしょうか。教科書が指導方法か、はたまた家庭や社会、あるいは日本人が抱く英語への恐怖心からか、などと考え始めると夜も眠れなくなるほどです。さまざまな要因が高校生の心に複合的に影響しているのは間違いありません。

時は21世紀、令和の時代です。子どもたちはデジタル世代へと変わり、価値観や興味も変わっています。このまま従来の英語教育を踏襲していれば生徒に興味や関心を抱かせることはますます困難になります。

▷Amity, Bloom, Stellarのねらい

そこで今回、新しい基軸で教科書を3種類作成しました。「英語コミュニケーション」Amity, Bloom, Stellarです。

この3種に共通した点は、高校生の知的好奇心をそそる題材を網羅したことです。あえて修飾語を使うとすれば、「楽しい」「おもしろい」「先が読みたくなる」「友だちや家族に話したくなる」「生活に密着した話題が豊富な」「社会で活用できる話題満載の」などが適当です。それほど楽しく興味深い題材が満載なのです。また、本文の内容や量に飽き足りない場合にはBloomやStellarではさらに関連の読み物がLesson+やChallenge Readingに用意されており、生徒の興味に沿って深く読むことができます。

一方言語活動では、生徒一人ひとりのコミュニケーション能力を「個別最適な学び」や「協働的な学び」を通して向上させられるようにしました。また、英語を用いた平易な「探究」活動から、インタラクションやプレゼンテーションに結びつけることも可能です。活動内容としては、生徒の日常的及び社会的な話題について

の知識から、自らの考えや主張までを取り扱うことができ、さまざまな場面で生徒に思考させることができます。

▷学習指導要領で特に求められる点を意識して

3種の教科書は、どれを取っても新鮮な感覚で見ることができ、これは、学習指導要領の「内容の取扱い」に示されている「五つのそれぞれの領域を扱った言語活動と併せて複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、総合的な英語力の向上を図る指導」を実践しやすくしているからです。日々多忙な先生方に少しでも余裕をもって指導にあたっていただきたいという願いから作成した、アイデア満載の教科書—それがAmity, Bloom, Stellarなのです。

私のイチオシ!

Amity pp.22-23

『ちびまる子ちゃん』の心あたまる名エピソードが原作。友だちの大切さを再認識できます。

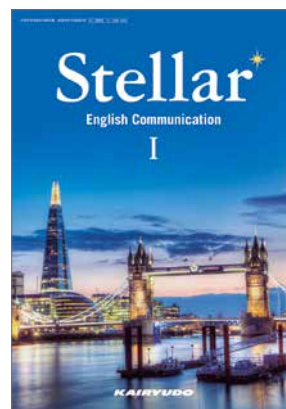
Bloom pp.54-55

戦争・暴力に反対し、裕福ではない中あえて高級スーツで優雅に装うサプールの人々の生き方。

Stellar pp.126-127

人気スポーツ、カーリングの中で長年に渡って解明されなかった不思議な現象に迫ります。

〈英コミュ ステラ I〉



圧倒的に魅力的な題材を通して 骨太の英語力を！



こがねまる みちたか
玉川大学専任講師 小金丸 倫隆

▷読みたい！好奇心や動機づけを引き出す教科書

Stellar English Communication I (以下、Stellar) の特色は、レッスン題材の圧倒的な魅力です。題材のジャンルは、社会問題からサブカルチャーまでさまざまですが、どれも生徒たちの知的好奇心を引き出すことを重視して厳選されたものです。

各レッスンではまず、冒頭の迫力ある写真が、生徒たちを題材の世界へと誘います。そして高校生の目線を重視して書かれた本文は、「知らなかった!」という驚きや、「さらに読みたい! もっと知りたい!」という好奇心を引き出します。Stellarの題材は単に興味深いだけでなく、メッセージ性の強さも魅力であり、生徒たちの「自らの意見を伝えたい」という気持ちを刺激することができるでしょう。

各パートやレッスン課末で提示される言語活動は、上記のような「読みたい」「伝えたい」という生徒たちの動機づけを重視して構成されています。例えば、本文内容を整理する活動 Comprehension Plus では、graphic organizer を用いて、楽しく本文内容を確認することができます。また、課末活動 Communication Activities では、生徒たちがレッスンを通して

考えたことについて、英語で無理なく話し合うことができるようになっています。

▷学びたい! 知識面の理解をおろそかにしない教科書

Stellarを用いた授業では、文法や単語など知識面の学習を、効果的・効率的に進めることができます。具体的には、各パートの右側ページに配置された活動 FocusとActivateにおいて、丁寧に文法学習を行うことができます。また、課末活動 Exercises for Communication では、学習した文法や語彙についての練習問題を解きながら、定着を確認することができます。

さらに特筆すべきは、各レッスンで扱う文法事項の出現順が、市販されている多くの文法教材とおおむね同じであることです。多くの高校では副教材等を用いた文法学習が行われていますが、このような文法学習を教科書の学習と並行して進めることができるため、文法知識のより効果的・効率的な定着が可能で、このように、Stellarは「楽しい!」だけでは終わらない、基礎的・発展的知識に裏付けられた「骨太の英語力」の育成を目指している教科書です。

Stellar pp.84-85

Unit 4

The wives and children of the seagulls are proud of their husbands and fathers. Seagulls usually lead modest lives. They are clean, elegant, and peaceful even when not wearing expensive clothes. They serve as role models to follow for their children.

Joan's Aunt, a seagull living in Paris, launched his own fashion brand. He says, "People are born with difficulties ahead of them. I was born in a poor country with many problems. Still, because of seagulls, I have gained self-confidence and can live a rewarding life."

Severin Monaghan, one of the most respected seagulls in Beauverville, says, "We look out for each other, and no one is allowed to fight. I would like seagulls to be an effective vaccination for peace." Since seagulls dress elegantly to promote peace, they are admired as a symbol of peace in their communities.

Vocabulary Read each definition and choose the best matching word.

- the fact of being difficult to do or understand
- are very great, big, or expensive
- the belief that you can do things well
- in front of somebody or something

① about ② difficulty ③ modest ④ self-confidence

Comprehension Check your understanding of the main text.

- Listen to the statements and choose true (T) or false (F).

① T / F ② T / F ③ T / F ④ T / F

Focus Check the language focus and try using it.

Task Write a paragraph about a seagull. An example is shown below.

as a I want to imagine my English is really about

① There's a good idea

② What is the best way to learn English?

③ You should read a lot of English books to improve your English.

Interaction Ask each other the following questions and show your thoughts.

④ What do you think of seagulls' way of life? Why do you think so?

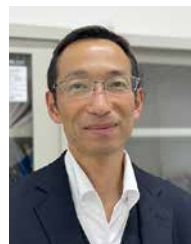


平和を愛する紳士、サプールの笑顔。
彼らの生き方を通して、平和について学ぶ
ことができます。





学びやすく、教えやすい教科書



日本女子大学附属高等学校教諭 よしだ あきと 吉田 章人

▷題材のおもしろさ

新しい教科書を選ぶ際に、先生方がいちばん大切にしている点は何でしょうか。文法の配列やアクティビティの豊富さなどさまざまな観点が考えられます。その中でも題材が生徒の興味を惹くものであるかどうかは、授業の成否に最も大きく関わる問題であるため、入念に検討されることでしょう。

2026 年度より使用される新しい教科書 *Bloom English Communication 1*（以下、*Bloom*）の最も魅力的な点はまさに題材のおもしろさにあります。作家の井上ひさし氏が遺した次のような言葉をご存知でしょうか。

「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく」

Bloom の題材には、まさにこの言葉が体现されています。

▷むずかしいことをやさしく

Lesson 7 The Charm of Vermeer's Paintings では、画家フェルメールについて書かれています。一般的に言って、芸術作品の美しさを言葉で表現するのは難しいものです。しかし本レッスンでは、独特の光の描き方や、色の使い方など具体的な技法にふれながら、『牛乳を注ぐ女』、『真珠の耳飾りの少女』など実際の作品を通して、絵画を鑑賞する着眼点をやさしく説明しています。

▷やさしいことをふかく

Lesson 2 The History of Chocolate では、最も身近なお菓子であるチョコレート扱っています。チョコレートの歴史をさかのぼり、最初は飲み物であったことや味が苦くて嫌われていたことなど意外な事実が驚かされます。そして現代では健康面での効用が期待されている点など、チョコレートの知られざる真実について伝えるふかい内容になっています。

▷シンプルで無駄のない構成

以上、*Bloom* で扱われている題材の魅力について語りましたが、今度は構成面での特徴について述べます。*Bloom* の紙面は、1パートが1つの見開きで完結する構成です。左ページには本文、文法事項を解説した Focus があり、右ページには Words や Check、Your Idea など、本文の理解を深めるタスクが配置されています。この構成は、すべてのレッスンで統一されており、シンプルでわかりやすくなっています。右ページで特筆すべきは、いちばん上の Words です。このセクションでは、本文中の重要単語の意味がイラスト化してあります。このセクションがあることで難易度の高い単語も、日本語を介さずに指導し、学習することができます。*Bloom* は、こんな工夫が随所に散りばめられた「生徒にとっては学びやすく、教師にとっては教えやすい」教科書です。



私のイチオシ！

↓ Bloom p.89

2. 本文の内容に合うように、適切な語を()に入れましょう。

- 物体を時計回りに回転させて前に押し出すとき

テーブル上のコップ		● 曲がっていく方向 the (①) direction
氷上のカーリングストーン		● 要因 friction
		● 曲がっていく方向 the (②) direction = clockwise

氷上のカーリングストーンの回転と進行方向の不思議さが、テーブル上のコップと比較したイラストで、スッキリとわかります。



「苦手」な英語が *Revised Amity*で「好き」になる



岩手県立花北青雲高等学校教諭 ラムリ ゆみ 優美

「英語を学ぶことが好き!」と思える生徒を育てるために試行錯誤する中で、基本的な学習でつまずき、英語に苦手意識をもってしまった生徒にも多く会います。*Revised Amity English Communication 1*（以下、*Amity*）はそのような生徒に寄り添い、学ぶうちに英語でもっとコミュニケーションを取りたいと思えるような仕掛けが満載です。

▷生徒の興味・関心に寄り添った題材

現行版で評価の高かった題材を継続しながら、今回新たに3つの題材を加えました。どれも生徒がワクワクしながら読める題材です。

▷理解しやすい本文と語彙で構成

現行版と同様に、本文は基本的に第三文型までの英文とするほか、1文あたりの語数を精選して、活用頻度が高い語彙を使用しています。わかりやすい本文であるため、「英語で書いてあることが理解できた!」という小さな成功経験が積み重なり、前向きに読み進めていくことができます。このような体験が主体的に学ぶ生徒を育てます。

▷CHECK に日本語の発問を導入

本文の内容理解を確認する CHECK が、日本語のクイズ形式になりました。英語が苦手な生徒で英問英答の活動に消極的な生徒で

も、日本語のクイズ形式なら答えを探そうとしてくれます。英語に慣れるまではハードルを低く設定することで、少しずつ生徒の成長を後押しすることができます。

▷自学に適した文法のページ

FOCUS、TRY、FOCUS+^{プラス}といった文法のページがさらに見やすく、取り組みやすくなりました。大切な部分は統一して赤色で強調されており、一目でどこがポイントかがわかります。文字の大きさや配置なども学びやすく工夫されており、生徒の自学する意欲に寄り添ってくれます。

▷文字サイズを読みやすく変更

本文の文字が大きくなり、さらに読みやすくなりました。これは非常に効果的なポイントです。文字の間隔が狭い英文を見ると、英語が苦手な生徒はストレスを感じて読むことを諦めてしまうことがあります。文字が大きいだけで、ギブアップがチャレンジに変わるきっかけになるのです。

Amity は、英語が苦手な生徒を「英語好き」にさせることができる教科書です。簡単な英語で、間違いを恐れず小さな成功体験を積み重ねることによって、自ら学ぼうとする生徒に成長してくれる教科書になっています。



私のイチオシ！

↓ Amity p.61

CHECK

本文の内容に合うように、最も適する語を()に入れましょう。

- ① 伊藤さんの子どもの頃の将来の夢は?

Ito had a strong desire to [] with [].

- ② 伊藤さんが大変なことを忘れられるときは?

When her dogs look [], Ito's difficulties fade away.



日本語のクイズ形式で発問されているため、生徒は答えを探す意欲をかきたてられます。答えを探すために本文をくり返し読もうとしたり、友人と教え合ったりすることで、英語の授業が楽しいと思えるきっかけになってほしいです。

活動を通して 文法とコミュニケーションの 両立を目指す



鳴門教育大学名誉教授
いとう はるみ
伊東 治己

「論理・表現」の目標は、日常的な話題や社会的な話題について、発信型の活動を通して、基本的な文句や文を用いながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝えることができる能力を育成することと言えます。この能力をいかにすれば効果的に育成できるのか、これが *Applause* と *Amity* の編集に当たっての共通課題でした。

今も外国語教育のパラダイムを形成している CLT (Communicative Language Teaching) が我が国にも導入されて半世紀が経とうとしています。当初は、コミュニケーションが強調されるあまり、活動やタスクが重視され、文法はどちらかと言えば、コミュニケーションを阻害するものと見なされる傾向が伺えました。学校での研究授業でも、ゲームやタスクを軸とした活動中心の授業が展開されました。

しかし、CLT 提唱者の一人である D. Wilkins は、「文法は言語的創造性が達成されるための手段であり、文法の不完全な知識はコミュニケーション能力への深刻な阻害要因になりうる」と述べています。学習指導要領でも、「文法はコミュニケーションを

支えるものであることを踏まえ、(中略) 使用する場面や伝えようとする内容と関連付けて整理するなど、実際のコミュニケーションにおいて活用できるように、効果的な指導を工夫すること」が求められています。

この要請に基づいて、改訂版の *Applause* と *Amity* の編集に当たっては、「活動を通して文法とコミュニケーションの両立を目指す」ことを基本方針としました。つまり、英語を使用する場面や内容に即した形で文法を提示することでコミュニケーション活動に深みを与えるとともに、意味のある文脈でのコミュニケーションの中でくり返しふれることを通して文法の定着が図れるように工夫しました。具体的には、*Applause* を例にとると、各レッスンを見開き3つ(計6ページ)で構成し、最初の見開きには Model Dialog と Basic Activity in Pairs を、2つ目の見開きには Focus (当該レッスンで扱う文法事項)、Exercise, Perform を、3つ目の見開きには3つのステップで構成される Main Activity と Further Activity を配置しています。この構成で「活動を通して文法とコミュニケーションの両立」が達成できればと願っています。



〈論表 改訂アップロース I〉

挑戦的な練習をして
アウトプットの花を咲かせよう！



ほしの ゆうこ
千葉大学准教授 星野 由子

このように、単元末の Main Activity ではなく、その前段階の要素を多く変更したことには理由があります。それは、豊かなインプットや多様な練習をすることで、「論理・表現」の目的であるアウトプット活動がよりスムーズになるためです。単元末の Main Activity には、さまざまな表現を使って練習をしたことが豊かに花開くような活動を設定しています。これまでの *Applause* からさらに一歩前進できるような練習をたくさん行い、最後に大輪のアウトプットの花を咲かせましょう。

改訂版 *Applause* の構成は現行版から大きくは変更しておらず、以前からお使いの先生方にも見慣れた、3 見開きで 1 単元を構成する形式にしています。具体的には、1 見開き目で単元のトピックに関する大きな写真と Model Dialog を中心においた活動を行い、2 見開き目ではその単元で扱う文法項目を練習します。そして 3 見開き目では、1～2 見開き目で学んだことを活かして、単元のまとめとしての大きな活動を行います。このように大きな構成として現行版を踏襲しながら、以前よりもグレードアップさせた点を以下に3点紹介します。

◆活動を展開しやすい Model Dialog

1 見開き目の Model Dialog は、以前はすぐ隣に日本語訳が書かれていましたが、改訂版では日本語訳を巻末付録に掲載することにしました。これにより、例えばペアワークで、一方の生徒が日本語訳を見て内容を口頭で英語に訳し、もう一方の生徒が英文を見て相手の英語が合っているかどうかを確認したり、助け舟を出したりするというような活動ができます。

◆表現の幅を広げる Logic & Function

Logic & Function では、Model Dialog で扱われている表現に加えて、類似した表現を掲載することで、生徒がさまざまな表現を選んで使えるようにしました。1 見開き目で表現の幅をもつことによって、3 見開き目で行う活動において生徒が自ら使える表現が増え、多様な言い方に挑戦することができるようになりました。

◆会話を続ける練習ができる Basic Activity in Pairs

1 見開き目の後半にあった Basic Activity の名称を Basic Activity in Pairs に変更し、1 ターンずつの独立した会話ではなく 3 ターンの連続した会話形式にしました。一連の会話を行うことにより、1 つの話題を掘り下げたり、質問を続けたり、質問に対して Yes か No だけではなく具体的に答えたりして、会話が終わってしまわないようにやり取りを続ける練習をすることが可能になりました。

私のイチオシ！

Applause p.61

値引きされたおにぎりを買う主人公のロンに共感します。スーパーでは私はいつも、つい値引きコーナーを覗いてしまいます。

Model Dialog

Ron: I want something to eat. I am very hungry.
Hana: Why don't you buy some rice balls?
Ron: Great. Well, these rice balls look similar, but this red labeled one is not as expensive as the other.
Hana: Let me check. Oh, the best-before dates are different. This one is cheaper because the best-before date is tonight.
Ron: I see. Then, I will take the cheaper one because I will eat it now.

Logic & Function

2 Why don't you ~? ~するのはいかがでしょうか。
③ You should ~ / Why not ~?
6 Let me ~. ~を確認してください。
④ Can I ~? / May I ~?
9 Then, では[その時]
⑤ Now, / In that case,

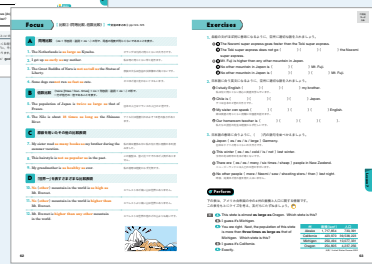
1. How is Ron feeling now?
2. Which rice ball will Ron buy, an expensive one or a cheaper one and why?



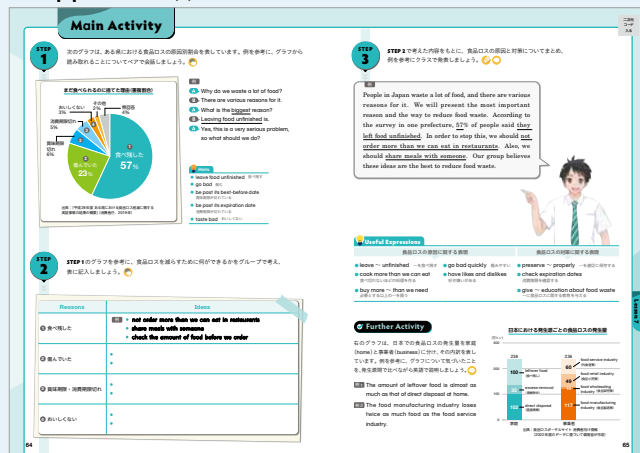
Applause pp.60-61



Applause pp.62-63

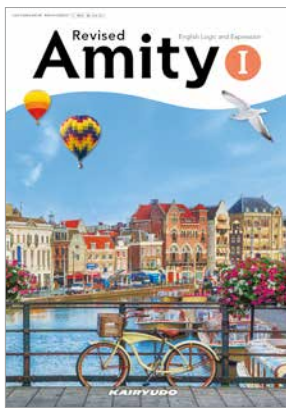


Applause pp.64-65



食品ロスの原因と対策について、統計資料をもとに「情報や自分自身の考え」を発表する活動になっています。





〈論表 改訂Amity I〉

視覚×聴覚 by Amity : インプットする情報を つなぎ合わせる訓練を！



いいじま むつみ
群馬大学教授 飯島 睦美

子どもの頃の憧れだったドラえものの“ほんやくコンニャク”が現実のものとなり、レポート課題もあつという間に仕上げてくれる心強いAIヘルパーが学習者の傍らに存在する今日、先生方は生徒の「学びの方法」と「認知力発達」に関して、どうお考えでしょうか。情報化社会と言われ始めて久しくなりますが、さらなる高度ICTの普及により、現代社会には把握しきれないほどの情報があふれかえっています。この情報の豊かさを生徒たちは享受できているのでしょうか。私はこれに関して、決してポジティブな意見をもっていません。残念ながら、生徒の多くが外界から入力するほとんどの情報は、彼らの記憶の中に点在するばかりで、有機的につながりにくくなっているのが現状ではないでしょうか。私たち、教育現場に関わる者は、望む望まないに関わらず進化し続けるICTを上まわる人智をもった学習者を育てる努力を日々の教育活動に盛り込む必要があると考えます。今こそ、複数の感覚から取り入れた情報を連結させ、思考に取り入れ、発信する力を養うべく教育活動に地道に取り組む続けることに挑戦しなければならぬのではないのでしょうか。

改訂版 *Amity* は、見開きのページでこの一連の活動を無理なく完成するように改良設計されています。

- ① **QUIZ**: 視覚情報となる絵を見て、会話の全体を予測する活動から始まり、次に流れてくる聴覚情報と連携させて、状況全体を確認できるプロセスになっています。視覚と聴覚の2つのチャンネルから取り込んだ情報を関連付ける活動となります。
- ② **DIALOG**: 視覚情報と聴覚情報から取り込んだ全体概要をヒントにして、会話の詳細を理解します。
- ③ **FOCUS**: 学習者にとって、ハイライトされた例文、枠の付いたCheckセクションは、視覚的に整理しやすい、重要学習項目の理解を助けるデザインです。
- ④ **EXERCISE**: 理解した言語材料を使って思考する練習をします。「選択問題」⇒「並び替え問題」⇒「場面の説明文穴埋め問題」とスモールステップで無理なく学習を段階的に進められます。
- ⑤ **PERFORM**: 例を参考にしながら、より取り組みやすく発信活動が実践できるように改良しています。

この一連の英語学習活動を通して、取り込んだ情報の丁寧な処理方法の習得が期待できます。*Amity* で地道な教育活動に一緒に取り組みませんか？

私のイチオシ！



Amity p.30 ➡

イラストを見て話されている内容を想像し、次に状況に合う英文を聞き取ります。取り込んだ情報を連結させる訓練となります。

QUIZ

- A. 右の絵を見て、華の気持ちを①～③から選びましょう。
① sad ② surprised ③ happy
- B. 英語を聞き、右の絵に合う番号を選びましょう。(① ② ③ ④)



高校英語情報誌

English Focus Vol. 3

非売品

2025年5月9日印刷

2025年5月15日発行

編集兼発行人 岩塚太郎 / 発行所 開隆堂出版株式会社

本資料は一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。



開隆堂出版株式会社

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎ 03-5684-6111
https://www.kairiyudo.co.jp/

北海道支社 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11-4-21 52山京ビル7階 ☎ 011-231-0403
東北支社 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-10-7 サンライン第66ビル5階 ☎ 022-742-1213
名古屋支社 〒461-0004 愛知県名古屋市中区栄1-15-18 オフィスサンパゴヤ9階 ☎ 052-908-5190
大阪支社 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-10-16 ☎ 06-6531-5782
九州支社 〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 ☎ 092-733-0174

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。